

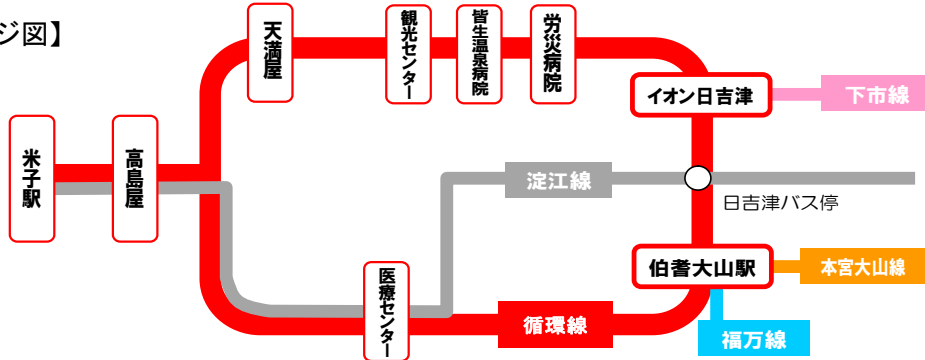
県西部地域公共交通網形成計画に基づく路線再編の内容

平成30年9月21日 交通政策課

1 米子市・日吉津村の商業施設、医療施設、伯耆大山駅をつなぐ米子市・日吉津村循環線の設定

- 西部地域の広域バス路線は米子駅を起終点としているため、住民アンケートで最もニーズが高かった米子駅を経由しなければ行けなかった商業施設や医療施設へ、現行のイオン線の一部を見直し、米子駅を経由しなくても行ける循環線（右回り4便・左回り4便）を設定し、通院や買い物等の利便性を向上させる。
- 併せて、「下市線」8便のうち2便をイオン日吉津で循環線と接続、「本宮・大山線」17便のうち4便、「福万線」16便のうち7便を伯耆大山駅で循環線と接続する。

【再編イメージ図】



- 料金は160円～400円（距離制運賃）。
- 運行時間は8：28～15：38、毎日運行。

結節点となる伯耆大山駅前では道路拡幅工事及びバス待機場所を整備、伊ノ日吉津では店舗入口近くにバス停を移設。また、伊ノ日吉津～伯耆大山駅間のバス停を新設し、淀江線の日吉津バス停と接続。

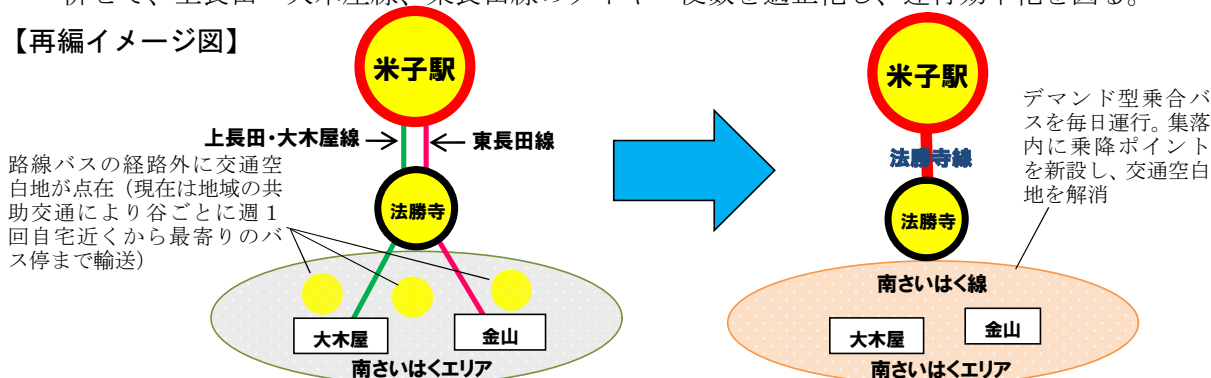
<期待されるメリット>

- 通院や買い物等住民ニーズの高い目的地を繋ぐ循環線の設定により、乗車時間短縮・運賃低減化による利用者利便性の向上。
- 循環線経路上に多くの病院や商業施設があるため高齢者の通院・買い物がしやすくなる。
- 枝線（福万線、本宮線、下市線）を循環線に接続させることで沿線住民の移動利便性が高まる。
- 新たに伊ノ日吉津～伯耆大山間約2kmを結び循環線とすることで日吉津・米子市東部の利便性が高まる。

2 南部町における米子駅～法勝寺間を結ぶ幹線の適正化及び支線のデマンド化

- 路線バス（上長田・大木屋線、東長田線）の経路外である南さいはくエリアの交通空白地について、現行の共助交通の維持・存続がドライバー不足等で困難なことから町営デマンド型乗合バスによる運行を導入し、集落内にも乗降ポイントを設置することで交通空白地の解消を図る。
⇒現在は地域住民がボランティアにより自宅近くからバス停まで谷ごとに週1回運行しているが、ドライバー不足や利用者減少が課題であった。
- 併せて、上長田・大木屋線、東長田線のダイヤ・便数を適正化し、運行効率化を図る。

【再編イメージ図】



<期待されるメリット>

- 南さいはく地域の交通空白地について、現在の週1回運行のボランティア共助交通から、乗降ポイントをきめ細かく設定した毎日運行の町営デマンド型乗合バスに切り替えることで利便性が向上する
- 上長田・大木屋線と東長田線のダイヤの適正化により、運行の効率化が図られる。